

第35回高齢者排泄ケア講習会

日時：平成25年6月8日(土) 14:50～17:00

場所：福岡国際会議場 5階 国際会議室 501

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 ※次ページの地図をご覧ください

参加費：1,000円 募集定員：200名

【申込方法】

■必要事項①所属施設名・住所（施設に所属してなければご自宅の住所で結構です）②氏名（ふりがな）③電話番号④「第35回講習会受講希望」と明記のうえ、ハガキもしくはFAXにて下記事務局までお申込ください。申込締切は平成25年5月30日(木)です(当日消印有効)。6月4日(火)までに先着200名様へ入場券を送付します。入場券がお手元に届かない場合はお申込みが受け付けられておりませんので、下記事務局までご連絡ください。

■入場券がない場合は受講できません。当日の申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

■当委員会ホームページ（<http://fukuokahaisetsu-net.org/>）でも申込を受け付けておりますので、ぜひご覧ください。

■締切日以降は、お電話にて直接お問合せください。締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

■お申込によりご提供いただく個人情報は、講座出欠および以外の目的で使用されることはありません。

テーマ：事例検討

■ 製品紹介 「環境除菌・洗浄剤 ルビスタ」（杏林製薬株式会社）

14:50～15:00

開会の挨拶：宮崎良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：柳迫 昌美 先生（原三信病院看護部 副部長 [皮膚・排泄ケア認定看護師]）

演題：わたしたちが実践している排便ケア

15:00～16:00

講師：高木 良重 先生

医療法人福西会 福西会病院 看護部 主任

～講師からのコメント～

排泄ケアは生命維持のために不可欠な援助です。また「排泄」は人間の基本的欲求のひとつでもあり、看護や介護の現場でよく目にする援助です。快適な排泄につなげるために、その時の状況に応じてさまざまな工夫が行われています。また、何らかの排泄障害がある場合、現れる症状や原因を踏まえて対処することが求められます。排泄のメカニズムや障害について理解することで、対象が抱える問題を解決することが可能となります。今回、排便にまつわるトラブルに関する事例をいくつか取り上げ、私たちが実践している内容を紹介します。

演題：試行錯誤の排尿管理とケア ～ベターな方法を求めて～

16:00～17:00

講師：西井 久枝 先生

産業医科大学泌尿器科学 助教

～講師からのコメント～

教科書を開けば 正しい排尿管理、排尿ケアが示されています。しかし、現場では、個人の下部尿路機能、認知機能、日常生活動作、家庭環境、住宅環境、利用できる医療・看護・介護サービスによって 大きく状況が異なり、画一的なやり方では苦慮することも多くあります。そのような複雑なケースに対応するためには、さまざまな知識と知恵と工夫、そして多職種との連携が必要です。ベストではないかもしれないけど、ベターな方法を求めて試行錯誤した排尿管理とケアの事例をご紹介します。皆さんの日常ケアの参考になれば幸いです。

閉会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会・杏林製薬株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会・福岡市医師会・福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812

～会場までのアクセス～

